

## ノルウェーサッカー協会の 親のための10の心得

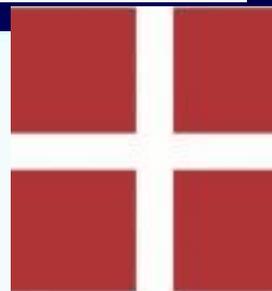
### 「12歳以下若年層育成のためのスローガン」



1. **試合や練習を見に行っておきましょう。**  
……子どもはそれを望んでいます。
2. **試合ではすべての子どもを応援しておきましょう。**  
……自分の子どもだけではないけません。
3. **調子の良い時だけでなく調子の悪い時も勇気づけておきましょう。**  
……批判してはいけません。
4. **チームリーダーを尊重しておきましょう。**  
……彼らの判断に圧力をかけないようにしましょう。
5. **レフリーはインストラクターとみなしましょう。**  
……レフリーの判断を批判してはいけません。
6. **子どもが参加することを刺激し、勇気づけておきましょう。**  
……プレッシャーにならないように。
7. **試合がエキサイティングだったか、楽しかったか、聞いておきましょう。**  
……結果だけを聞くことのないように。
8. **サッカーにふさわしい、節度ある用具を準備しておいてください。**  
……大げさになってはいけません。
9. **クラブの仕事を尊重してください。**  
……積極的に親のミーティングを持ち、どのような態度で臨むべきか話し合しましょう。
10. **忘れないで下さい。サッカーをするのはあなたの子供です。**  
……あなたではありません。



## デンマークサッカー協会 少年指導10カ条

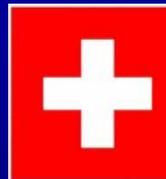


1. 子どもたちはあなたのモノではない。
2. 子どもたちはサッカーに夢中だ。
3. 子どもたちはあなたとともにサッカー人生を歩んでいる。
4. 子どもたちから求められることはあってもあなたから求めてはいけ  
ない。
5. あなたの欲望を子どもたちを介して満たしてはならない。
6. アドバイスはしてもあなたの考えを押し付けてはいけない。
7. 子どもをの体を守ること。しかし子どもたちの魂まで踏み込んで  
はいけない。
8. コーチは子ども達の心になること。しかし子どもたちに大人のサッ  
カーをさせてはいけない。
9. コーチが子どもたちのサッカー人生をサポートすることは大切  
だ。しかし、自分で考えさせることが必要だ。
10. コーチは子どもを教え導くことはできる。しかし、勝つことが大  
切か否かを決めるのは子どもたち自身だ。

## Fユース (U-9) の子どもからパパへの手紙

(スイスサッカー協会から。子ども向けサッカー絵本の前文、パパへの手紙 抜粋)

パパ、パパがこないだピッチの外に置いてあったゴールによじ登ってレフェリーに文句を言ったでしょ。あの時、僕はすごく頭にきて泣きそうになったんだ。あんな怒り方、今まで見たことなかったよ。たぶん、レフェリーが間違っただとは思う。でも、僕がたとえパパの言うように「レフェリーのせいで」試合に負けたんだとしても、そんなことはどうでもよくて、僕はとっても楽しかったんだ。わかってほしいんだ、パパ。僕はプレーしたい、それだけなんだよ。僕は楽しみたいんだ。だから、僕がプレーをしているときには、「パスしろ!」とか「シュートだ!」とか、叫び続けるのはやめて。パパの言うことはあっているのかもしれないけど、僕が緊張してしまうんだ。パパ、もう一つあるんだ。試合中にコーチが僕のことを交代させても、怒らないで。僕は、ベンチにすわってみんながプレーしているのを見るのだって楽しいんだよ。僕らは大勢いるし、みんながプレーしなきゃだめでしょ。それから、僕にサッカーシューズをきれいにするやりかたを教えてください。僕のなんだからパパがやってくれなくていいんだ。僕が自分でできるようにならなきゃいけないんだよ。それからスポーツバッグは僕が自分で持ちたいんだ。バッグにはチームの名前が書いてあるから、僕がサッカー選手だってまわりのみんながわかるだろう? 僕、それが好きなんだ。パパ、お願い。試合の後にママに「今日は勝った」とか「負けた」とかって話すのはやめて。ママには僕がとっても楽しんでいって伝えてほしいんだ。それから、僕がすごいシュートを決めたから勝った、って言うのもやめてね。だって、そうじゃないんだもの。僕がシュートを決めたのは、仲間が僕に良いパスをくれたからなんだよ。勝ったのは、僕らのチームのゴールキーパーが必死に相手のシュートを防いでくれて、チームの仲間が全員でせいっぱいがんばったからなんだ。(コーチが僕らにそう教えてくれるんだ) 怒らないでね、パパ。こんなことを書いてしまったけど。僕、パパが大好きなんだ。練習に遅れてしまうので、これでおしまいにするね。練習に遅刻すると、今度の試合にはじめから出してもらえないんだよ。じゃあね。



## おとなのみなさんへ

「僕達の試合を観に来てくださってありがとうございます。  
また、いつも僕達のスポーツ活動を応援していただきありがとうございます。  
今日という日は僕たちの一日です。  
僕たちはサッカーを思う存分やろうと喜んでここに来ました。  
もちろん、誰だって勝ちたいに決まっています。  
でも、一番大切なことはプレーが出来るということです。  
だから、どうか僕達の思うようにプレーさせて下さい。  
ピッチのそばで怒鳴らないで、  
相手チームや彼らのサポーターに対してフェアでいて下さい。  
ミスプレーをいちいちなじらないでください。  
僕達はしょんぼりするだけで、何の役にも立ちません。」

すべてのこどもより

(スイスサッカー協会のキッズサッカー用の掲示ポスターより抜粋)

